

■使用上のご注意

- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。
器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- 停電などでプルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどで好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。
- パイロットスイッチ(電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。
- ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
変質の原因になるので水拭きしないでください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AH45666L・AH45667L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。→器具の落下によるけがの原因になります。 傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

取説No. C902-008 NN／S・T

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない でください。→やけどの原因になります。	禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置か ないでください。また、燃えやすいものを近づ けて使用しないでください。→火災の原因にな ります。
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。→火災・感電の原因にな ります。	厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。→火災・感電の原因にな ります。
禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。→火災・感電の原 因になります。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異 なりませんが、一般的な使用状態で8～10年が目 安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店) による点検を実施していただき、不具合があり ましたら適切な処置を施してください。→放置 すると、火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH45666L	AC100V	0.51A	50W	LED
AH45667L		0.39A	38.7W	

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。

シーリングボディ

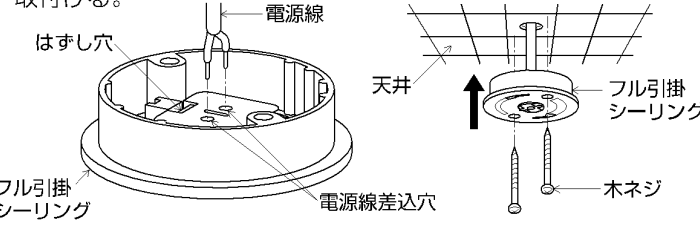
フル引掛シーリング

埋込ローゼット

フル引掛ローゼット

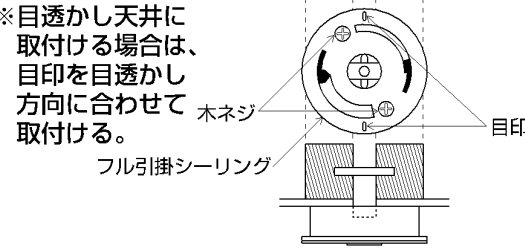
2 配線器具がついていない場合

付属のフル引掛シーリングを木ネジで天井に確実に取付ける。



はずし穴、電源線、天井、フル引掛シーリング、電源線差込穴、木ネジ

※目透かし天井に取付ける場合は、目印を目透かし方向に合わせて取付ける。



木ネジ、フル引掛シーリング、目印

※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

取説No. C902-008 NN／S・T

- 2 -

■取付手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

〈付属部品〉

〈リモコン送信機一式〉

1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、“カチッ”と音がするまで右に回す。

⚠ 警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

2 本体を取付ける

- ① 本体の穴に電源コードを通す。
- ② 本体をアダプタに合わせて押し上げる。

※本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。

※本体の取付けは＜埋込ローゼットの場合＞、＜その他の配線器具の場合＞をご覧ください。

- 3 -

取説No. C902-008 NN／S・T

△警告 解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

アダプタ
解除レバー
矢印

<埋込ローゼットの場合>
アダプタのツメに本体のミゾが引っ掛かるように1段階押し上げる。

埋込ローゼット
ツメ
アダプタ
本体のミゾ

<その他の配線器具の場合>
アダプタのツメに本体が引っ掛かるように2段階押し上げる。本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。

配線器具
ツメ
アダプタ
本体

3 本体の方向性について
本体を取付ける際、本体の矢印(1ヶ所)が部屋の軸方向に向くようにして取付ける。

※角形セードなどが部屋の方向とずれないように矢印の方向を合わせてください。

本体
矢印
軸方向

4 コネクタを接続する

本体側コネクタ
アダプタ側コネクタ
アダプタ

5 セードを取付ける
セードと本体の矢印を合わせ、セードを押し上げながら“カチッ”と音がするまで右に回す。

本体
③右に回す
セード
①矢印の位置を合わせる
②セードを本体に合わせる

△警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

■取外手順

1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す
セードを“カチッ”と音がするまで左に回して取外す。

3 コネクタを取外す
アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。

アダプタ側コネクタ
本体
本体側コネクタ
ツマミ
アダプタ側コネクタ
ツマミ

4 本体を取外す
本体を支えながら、アダプタの解除レバーを内側にせばめ、本体を取外す。

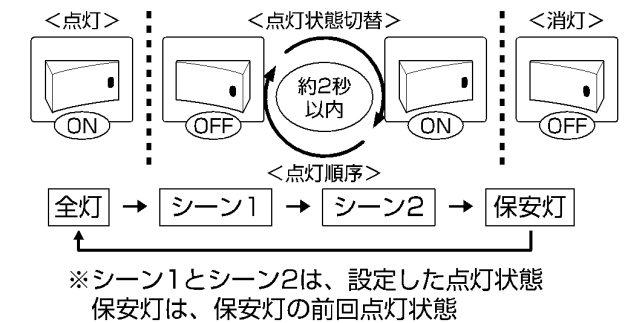
アダプタ
解除レバー
本体

5 アダプタを取外す
アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。

配線器具
解除ボタン
アダプタ

■壁スイッチで操作する（ブルレス操作）

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。調光(調色)操作をされた後、ブルレス操作をした場合、全灯になります。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をブルレス操作することは避けてください。
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。)
- 出荷時、シーン1は100%寒色、シーン2は100%暖色、保安灯は80%に設定されています。



■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

調光(▲▼)ボタン
点灯時の明るさを調節できます。主光源(100%～約1%)をお好みの明るさに調節できます。(周囲温度約25℃時)
※調光状態は、室温、器具状態によって多少変化します。
※保安灯点灯時やリモコン操作での消灯時に押すと主光源が保安灯ボタンや消灯ボタンを押す前の点灯状態になります。

寒色(ブルー)ボタン
点灯時の光色を調節できます。光色は寒色側へ変わります。
※保安灯点灯時やリモコン操作での消灯時に押すと主光源が保安灯ボタンや消灯ボタンを押す前の点灯状態になります。

シーン1ボタン
設定された調光・光色で点灯します。出荷時、主光源の調光は100%・寒色にシーンが設定されています。

チャンネルスイッチ
2台の照明器具を個々に操作する場合に照明器具側のチャンネルと合わせます。
<2台の照明器具を操作する場合>
一室で2台の照明器具をリモコン送信機で操作する場合は、どちらか一方の照明器具のリモコン受信部のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。

全灯ボタン
100%・中間色で点灯します

暖色(オレンジ)ボタン
点灯時の光色を調節できます。光色は暖色側へ変わります。
※保安灯点灯時やリモコン操作での消灯時に押すと主光源が保安灯ボタンや消灯ボタンを押す前の点灯状態になります。

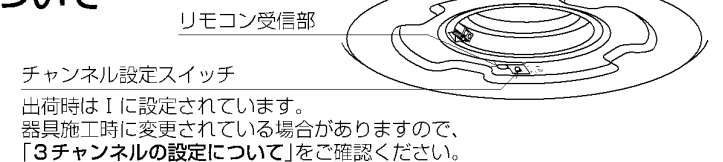
シーン2ボタン
設定された調光・光色で点灯します。出荷時、主光源の調光は100%・暖色にシーンが設定されています。

保安灯ボタン
保安灯の点灯と明るさが調節できます。(5段階調光)
※保安灯ボタンを押すごとに明るさを調節することができます。
※出荷時、保安灯の調光は80%に設定されています。

消灯ボタン
消灯します。

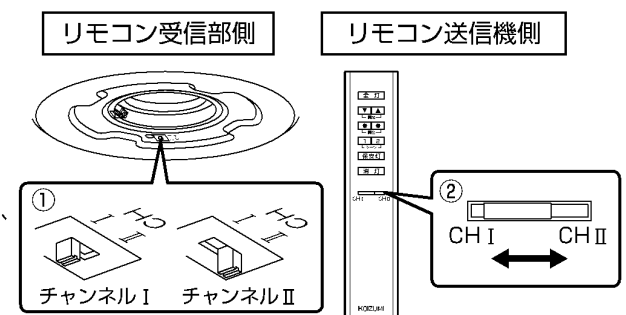
KOIZUMI

2 リモコン受信部のスイッチについて



3 チャンネルの設定について

- <1台の器具のみ操作する場合>
リモコン送信機のチャンネルをⅠにしてください。
- <2台の器具を操作する場合>
一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。
リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

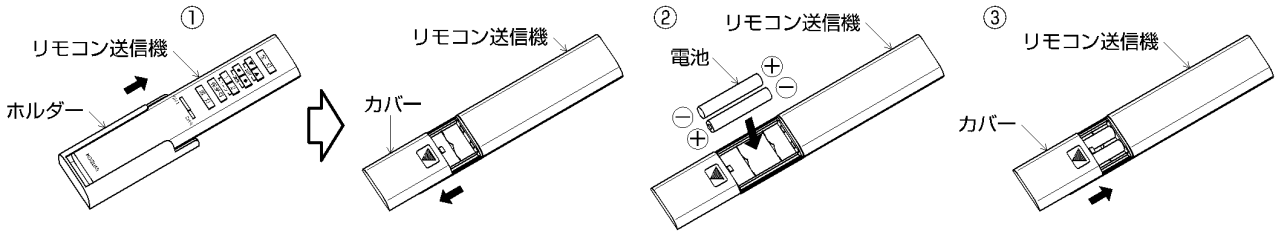


■リモコン送信機について

1 リモコン送信機に電池を入れる

- ① リモコン送信機をホルダーから取り出し、カバーを外す。
- ② 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③ カバーを取付ける。

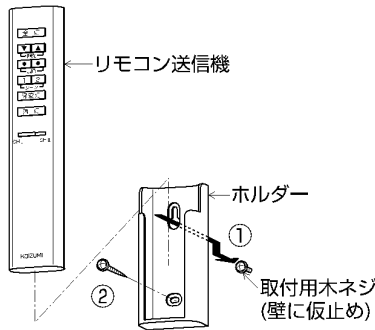
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

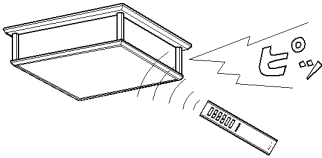
- ① 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ② 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにしてください。ホルダーが破損するおそれがあります。



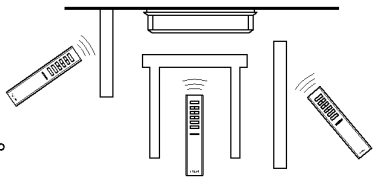
3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

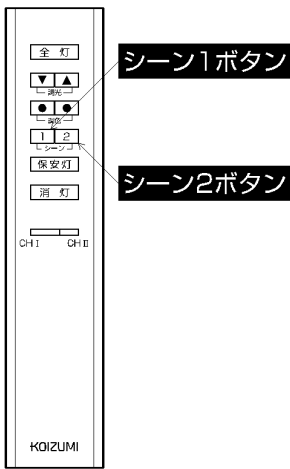
- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。しゃへい物をさけて再度ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信



■シーンの設定について

お好みの明るさ・光色を2パターンメモリすることができます。

※出荷時、シーン1は主光源の調光は100%・寒色に設定されています。シーン2は主光源の調光は100%・暖色に設定されています。



- ①シーンの設定
■リモコンで操作するを参照して、明るさ・光色を決定する。

シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを長押しして、照明器具から確認音が「ピービ」と鳴り、シーンがメモリされる。

- ②シーンの使い方
シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを押すとメモリされた状態で点灯します。

※「シーン1」、「シーン2」に同じシーンの設定はできません。
※消灯または保安灯の点灯中は、シーンの設定ができません。
※リモコン送信機を操作すると確認音が照明器具よりします。
※シーン設定後、照明器具のチャンネルを切り替えると照明器具のシーン設定がリセットされます。再度、シーンの設定を行なってください。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考えられる原因	処 置
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない	ブルレス操作が確実に出来ていない	電源のON・OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合、操作を確実に行ってください (2秒以内のOFF→ON)
リモコン送信機で照明器具を操作できない または、点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機の電池の極性⊕⊖が間違っている	電池を正しく入れる
	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
勝手に点灯状態が切り替わる	照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(説明書の■リモコンで操作するをご確認ください)
	デモ用の動作モードになっている	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CHⅡ」に設定し、全灯ボタンを押しながら3秒以内に保安灯ボタンを3回押し、デモモードを解除する
リモコン送信機で照明器具を操作した時に確認音がしない	確認音の消音モードになっている	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CHⅡ」に設定し、全灯ボタンを押しながら3秒以内にシーン1ボタンを3回押し、消音モードを解除する
リモコン送信機で消灯したのに照明器具が点灯している	リモコン送信機で消灯してから壁スイッチをOFF→ONにした	再度、電源が入ると消灯する前の状態で点灯するようになっています (お出かけの際は、壁スイッチをOFFにしてください)
	消灯中に、停電が起こった可能性があります	